



完全保存版 「自然素材住宅塾」



今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

こんにちは。駿河屋の九代目当主一樹です。

いよいよジメジメの梅雨に突入したころでしょうか。珪藻土^{けいそうど}や無垢のフローリングにしたお宅は「部屋干しの乾きっぷりがスバラシイ！」とよろこんで頂いておりますが、皆さんの住まいはいかがですか。冬は雪山に登る僕ですが、梅雨から秋は、溪谷に出掛けて滝を登って山の頂上に行く沢登りばかりしてます。ジメジメはいやですが、マイナスイオンを浴びまくりながら登る滝は爽快ですよ。

それでは、今月も子育てママにお役にたてる、おうちの中で大切なこと、発信します！

【ぜん息と食物アレルギーの基礎知識】

以前「ぜん息と食物アレルギーの基礎知識」というテーマでのセミナーに参加したときのお話しをお伝えします。講師は地元すみだの同愛記念病院、増田先生です。

様々なお話しを2時間にわたってお話しして下さいましたが、その中で、興味深かった内容をお伝えしますね。

現代社会では、やはり食物アレルギーは、増え続けているのが実情のようです。割合でいいますと

乳児 10% 幼児 5% 学童～成人 2% という比率だそうです。

このように、多くの人は成長するに従って、アレルギーに対する食べ物に慣れてきて、反応が出なくなるのだそう。

だいたい、3歳くらいで半分の人たちは治る（反応しなくなる）ようで、治療方法としても、少しずつ食べることで、治る方に誘導することがあるそうです。

これは、食物アレルギーの経口免疫療法^{けいこうめんえきりょうほう}といって、原因食物を除去するのではなく、逆に繰り返し食べる事で、食物アレルギーの治癒を目指す治療法だそうです。

それにしても、症状の出た特定できる食べ物を、口に入れるということは、大人でも抵抗のあることですよ。小さい子供ならなおさらです。なかなか辛い治療法だと思います。

さて、最近の傾向としては、昔には少なかったアレルギーが増えているそうです。

それは ・魚卵・魚・ピーナッツ。

今はイクラなんて手軽に食べられるようになりましたからね。ピーナッツは化粧品などにも含まれているので、ピーナッツアレルギーの人は注意が必要だそうです。

「アレルギーマーチ」という言葉をご存じですか？

僕は知りませんでした、アトピー性要因を持った人が

(アトピー⇒食物アレルギー⇒気管支ぜんそく⇒アレルギー性鼻炎)

このように、次々に症状が起こることを言うのだそうです。

なので、アトピーの症状のある方は、ぜん息になりやすいというお話しもありました。しかし、ぜん息の原因は、公害や気象条件などよりも、住環境が原因となることが大きいと、先生もおっしゃってました。

興味深い話だったのがペットの問題。ぜん息というと、ペットを手放すというのが定説だと思ってましたが、このペットに不随する毛やフケなども、食物と同じように慣れてしまうようです。ですので、現在では、ペットはそのまま飼い続けることが出来るようになったようです。

それと、布団に関して、サンヨーとの協同調査をした時の話しもすごかったです。布団掃除機というものを使って、朝晩、布団の掃除をしてダニの数を調査したらしいのですが、 畳 1千 絨毯 2万 ふとん 3億!!!

これ、ダニの数です……。表面というより、布団の中に沢山いるということでした。

ぜん息は夜に気管が収縮するので症状が悪化する傾向があるようですが、布団による影響もあるようです。

最後に僕から質問させて頂きました。

「アレルギーは先進国特有の疾患で、発展途上国には無いと言われていますが、その原因はなんだとお考えになりますか？」

という質問にたいして、「アレルギー反応を起こすIgE抗体は、本来外部からの細菌に対して、攻撃していたものが、衛生的によくなった関係で、その分様々なアレルギー(食や空気)に反応するようになったのではないか」とお答え頂きました。

人間ももともとは、大きな循環の中で生きる生物の一つですから、自分だけ外れて生きていこうとしても、そうはいかないのかも知れませんね。

家づくりをきっかけに「体と心がよろこぶ暮らし」を考える

創業 1657年 株式会社駿河屋 〒131-0033 東京都墨田区向島 1-24-16

TEL03-5637-1179 <http://www.surugaya-life.jp>

